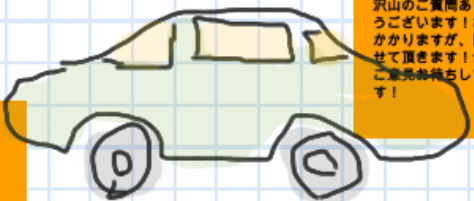


U-30:はじめての共同作業

一枚目

チームの方へのコメントをお願いします！



沢山のご質問ありがとうございます！お時間がかりますが、回答させていただきます！色々なご意見お持ちしています！

使い方

コメントはこのような付箋で張ってください。否定的なコメントだけでなく肯定的なコメントをお願いいたします。付箋の色は下記の種類で利用してください。

シートが付箋で沢山になりましたら上の下記を押してページを作成してください



質問 感想 回答

ページ追加されています！

テストレベルごとのスコアの根拠をシステムアーキテクチャの形で示されている点は素晴らしいと感じました！

テストコンテナ実行モデルでは「発生した時のリスク」「主機能への影響度」を軸にされたとのことですが、それぞれどのように抽出、評価されたのでしょうか？

箋上での回答としては、「リスク評価」はそのテスト観点を満たされない場合に「やけど・火事につながるか否か」を評価しています。「主機能への影響評価」は、そのテスト観点が「プレストで特定した重要である機能」「温度制御行為」「給湯」が使えなくなるか否

テストケースとテスト観点的の違いは何なのでしょう？1対1で対応するならば、テストケースの必要性が読み取れませんか？

【回答】テスト観点は、「何をテストすべきか」を記載しており、テストケースは「どのようにテストするか」を記載しています。

「一連の流れでシステムの振舞を見たいテスト観点は、どういった経緯で出たテスト観点なのでしょう？ラフチャートなどの関連性が読み取れませんでした。

【回答】テストケースの入力仕様で特定した入力因子の操作を特定の順番で実施の必要がある場合にユースケーステストとしています。(ラフチャートとは直接関連はありません)

コンセプトについて、ステークホルダの課題を言語化しておられることは見習いたいなと感じました。

優先度の高いテスト観点からテストケースを作成するアプローチはいいですね！

テストに対して一貫した目的意識を持たれていて、Openクラスでも遜色なさそう素晴らしい内容だと思います。お疲れさまでした！

スライドが作りこまれていて見やすいです！各プロセスの意図がしっかり示されているのがいいなと思いました。

【回答】テスト観点は「何をテストするか」、テストケースは「どのようにテストするか」を記載するようにしています。

テスト実行時の進捗管理は、データレベルでの集計を想定してますか？ケースレベルの集計を想定してますか？現場とステークホルダーで見る観点が違うので、その合意形成をする想定ですかね？

FTAを採用した意図やメリットを聴きたいです。最終的にFATからシステムテストへ活用できたものはなかったようです。ポットなので、多くはハードウェアに閉じたリスクも多いと思いますが、まったくソフトウェアも含んだ系におけるリスクがないというも違

FTAを使用すれば市場を想定したリスクを抽出できるのではないかと考えたことが意図です。メリットとしては抽出された故障モードに対して要求仕様書上で対策されているか否かの判断により、リスク対策の抜け漏れを議論できたことだと思います。 また実際に

関連仕様マトリクスは行も列もIDだけでしたが視認しにくいですが？実際にはトレーサビリティツールなど使ってIDからすぐ内容がわかるのでしょうか？

テスト観点について、「TReq」というIDがふられた経緯はどのようなもののでしょうか？

テスト観点的の妥当性を評価できるようにするというアプローチが良いと思います！評価の方法は人によってブレないようにするなどの工夫はあるのでしょうか？(逆にあえて多様な評価を認めるアプローチもあるとおもいます)

Reqとは Requirement(要求)の略だと思ったのですが、テスト要求ではなくテスト観点なのですか？

【回答】はい、あくまでテスト観点的のIDです。そのテスト観点的がReqから抽出されたのが、Riskから抽出されたのを追えるようになりました。

【回答】テスト実行チームには、テストケース毎の結果集計して頂くこと想定しています。テスト結果のログとしてはテストデータごとに結果を残してもらおう想定です。

テストデータはエビデンスのことですか？ポット内のソフトウェアの組込ソフトのログがエビデンスとなると思うのですが、実動作ならどのように抜き出すのを想定していますでしょうか？S,Aだけで5人日もなかなかハードだと感じました。

【回答】我々が定義したテストデータは、因子と水準を表す成果物と定義しています。工数についてはおっしゃる通り、考慮しきれていない部分があります、、、次回に生かしたいと思います！

【回答】おっしゃる通り、IDだけでは視認性が落ちてしまいます。今回はマトリクスの視認性、メンテナンス性からIDのみとし、作業時には要求仕様書を参照しながらテスト観点的を抽出しました

【回答】要求仕様書から抽出された観点的を「TReq」、FTAにより抽出された観点的を「TRisk」と定義しました。

【回答】現段階ではテストコンテナに対してどのようにレビューするのかが、という評価軸までは検討できていません。コメントいただいた通り、各コンテナと合わせてレビューの観点的を定義するとコンテナの価値が上ると感じました！

U-30:はじめての共同作業

チームの...をお願いします!

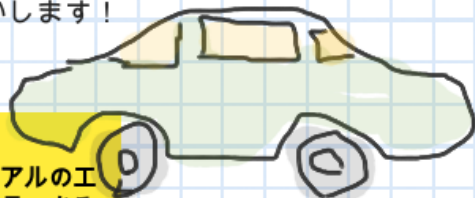
二枚目

質疑応答の
受け答えが
明確で素敵

コンシューマは受け入れテストというのは、まず望めないように思いますので、例えば取扱説明書に沿って使ってみるテストも必要なきがします。

消費生活相談センターとかで評価されることもリスク

マニュアルのエラーが見つかることもありますよ。



今回受け入れテストとして、ざっくり割り当てていましたが、具体的にどんな受け入れテストをするかという点は検討ができておりませんでした。コメント頂いたように、「ポットマニュアル」に対するテストをしてもらうと良いのだなと学びになりました!

ラルフチャート、自分も使ってみようかなと思いました。

素晴らしい
という意味

テスト観点とテストケースの紐付けできていたので、テスト中に、テスト抜けてたかあっても、リカバリ容易・方向性決めやすいと思います

「システム」と置いているんですが、それだと真摯や水準を導出するのが難しくなかったですか?ポットが持つ、いくつかの目的機能ごとにラルフチャートを作ると、より因子や水準を想起しやすいのではないかと考えたので、今回「システム」と置いてみた工夫について詳細を聞いてみた

【回答】今回、テスト要求分析の前にラルフチャートを作成しているため、真ん中の"システム"という表現は抽象的というのは我々も感じておりました。目的機能ごとにラルフチャートを作成するという点は抜けておりました。貴重なF/Bをありがとうございます。

使い方

コメントはこのような付箋で張ってください。否定的なコメントだけでなく肯定的なコメントをお願いいたします。付箋の色は下記の分類で利用してください。

シートが付箋で沢山になりましたら上の下記を押してページを作成してください



質問 感想 回答

12ページの観点は、プロマネさんにレビューしてもらおうとも考えて、縦軸と横軸の考慮するといいかもね。設計仕様が縦軸に機能仕様が並んでいたら、そこは縦軸に機能仕様とか。気使いすぎかもしれないけど、プロマネさんは多忙

どん
まい

ちょっとした配慮の話

プロマネさんからテスターにインプットされたのが横軸に機能仕様なら、これでいいです。